

令和7年度 トライアングル研修会 実施要項

秋田県教育庁特別支援教育課

1 目 的

障害のある子どもの切れ目ない支援に向けた連携体制の構築に向けて、子どもの学習や生活を総合的に支える視点から、三者（保護者、学校関係者、放課後等デイサービス事業所関係者）の連携の必要性について理解を深める。

2 主 催 秋田県教育委員会

3 日 時 令和7年9月9日（火） 10：00～12：00

4 開催方法 オンライン Z o o mミーティング

5 参加対象

- ・保護者（小・中学校等、特別支援学校）
- ・学校関係者（小・中学校等、特別支援学校、市町村教育委員会）
- ・放課後等デイサービス事業所関係者（放課後等デイサービス事業所職員、相談支援事業所、市町村障害福祉担当課）

6 日程及び内容

9:30～ 9:50	入 室
10:00～10:05	開会行事 特別支援教育課挨拶 指導チームリーダー 中 村 素 子
10:05～10:15	説 明 「本研修会の趣旨」 障害福祉課、特別支援教育課
10:15～10:35	実践紹介 「学校と放課後等デイサービス事業所の連携の推進」 ～令和6年度大館市の実践から～ 大館市教育委員会学校教育課 臨床心理士 佐々木 百合 氏
10:35～10:50	話題提供 「障害のある子どもへの切れ目ない支援に向けた効果的な連携の取組について」 横手市市民福祉部社会福祉課障がい福祉係 主任 佐々木 夏 音 氏 横手市障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員 須 藤 雄 大 氏
10:55～11:40	情報交換 「切れ目ない支援に向けた、三者（保護者、学校関係者、放課後等デイサービス事業所関係者）の連携体制の構築に向けて」 ※ブレイクアウトルームを使用し、グループに分かれて情報交換
11:40～11:55	全体講評 秋田大学教育文化学部こども発達・特別支援講座 准教授 鈴 木 徹 氏
11:55～12:00	閉会行事 特別支援教育課挨拶 指導チームリーダー 中 村 素 子